


北九州市立則松小学校 学校経営方針（グランドデザイン）

◇学校教育目標とめざす子ども像



心豊かで 自ら学び たくましく生きる子どもの育成

<やさしく> <かしこく> <たくましく>

目指す子どもの重点（育てる学校文化）

<心豊かで協調性のある子ども>

- ・自他の命を大切にする子ども
- ・規範意識を高く持ち、善悪を正しく判断できる子ども
- ・礼儀正しい子どもくあいさつ・言葉づかい>

<自ら学び、自ら考える子ども>

- ・自ら学び、自ら考える子ども
- ・よく聞き、進んで表現する子ども
- ・学びを生活に生かす子ども

<心身ともに健康で、強い意志と実践力のある子ども>

- ・進んで働く子ども
- ・進んで体力づくりに取り組む子ども
- ・健康で安全に生活する子ども

◇めざす教師像

- 教職員としての使命感・専門性をもち研究と実践に努力する教職員
- 心身ともに健康で温かさと厳しさのバランスのとれた教育愛みなぎる教職員
- 教育公務員・教育者にふさわしい服装・言動をとる教職員
- みんなで考え協力し、行動で示すことのできる教職員

- ① お互いを思いやり、明るく元気な職場で、心をつなげて、よりよい仕事をしよう。
 - ② 「時を守り、場を清め、礼をつくす」
 - ③ 一人で抱え込まない。
教師も「ともに育ち」・・・
- 「チーム則松」の信頼と結束
(不祥事の撲滅)**

◇めざす学校像

- (1) 子どもが主役となる明るく楽しい学校
・・・特別支援教育の充実
 - (2) 子どもが価値（ねうち）を感じ取る学校
・・・規律ある学校、特別活動の充実
 - (3) 確かな信頼で結ばれた学校
・・・子ども相互、子どもと教師、教職員間、学校と保護者地域、小中の連携（則松中）
 - (4) 保護者や地域に開かれた学校
・・・安全で美しい学校→学校応援団
 - (5) 研究・研修を通し教師集団が学び合う学校
・・・授業改善
- 「一時間、一時間の授業の中に、教育のすべてがある」(指導の重点より)という考えを基盤にすえ、「確かな信頼」で結ばれた「活力」ある学校
当たり前なことを当たり前でできる子どもを育てる。

<重点目標> “SDGs（持続可能な開発目標）の視点”

- ① すべての教職員の共通理解と協同体制のもと学校の教育力を高める
「チームとしての一層のまとまりを」・・・若手の育成 一人一人のよさの発揮
- ② いじめ防止教育の推進 **SDGs 10**
北九州子どもつながりプログラムの効果的な活用（人間関係づくり、学級づくり）
心の相談（毎学期の実施）道徳・特別活動の充実による心の教育、
- ③ 特別支援教育の充実 **SDGs 10**
障害のある児童の一人一人の教育的ニーズをとらえ、教育環境の充実及び支援体制の強化。
- ④ 「わかる授業」づくりのための授業改善 **SDGs 4**
算数科を中心として、すべての教科等の学習で言語活動を充実させ、新しい教育課程の確実で効果的な推進を図る。（話し合い活動、書く活動）
基礎的・基本的な知識や技能の習熟を図るとともに、それを活用した思考力・判断力・表現力等を高める授業づくりに取り組む。（めあて、まとめ、振り返り）
- ⑤ 読書活動の充実
学校図書館の充実と活用の促進、朝の読書活動や家庭での読書〔うち読〕のすすめ
- ⑥ あらゆる教育活動を通して、人権意識の高揚と人権感覚の育成に取り組む。 **SDGs 5.16**
確かな人権意識、人権感覚による温かい指導。スクールカウンセラー等の活用など教育相談体制の充実
- ⑦ 体力向上の推進（一校一取組・パワーアッププログラムの活用） **SDGs 3**
- ⑧ 外国語活動の充実（ALTや専科の活用）
- ⑨ 安全な生活についての指導を進め、学校としての対策を見直して、児童の安全確保を図る。
- ⑩ 環境教育の充実 **SDGs 6.13.14.15**
- ⑪ 学校改善に生きる学校評価の実施